

屋久島森林管理署の主な取り組み

1 資源の有効活用について

戦後植栽されてきたスギ人工林は、木材としての利用期を迎えようとしています。また、地球温暖化防止の観点からも適正な森林整備が求められています。当流域では路網と高性能林業機械の組み合わせによる「低コストで効率的な作業システム」を導入した間伐等の森林整備に取り組んでいます。



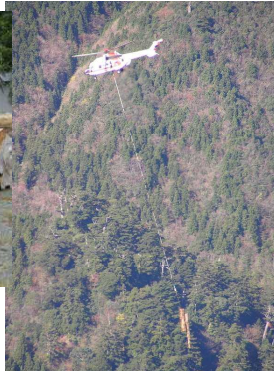
間伐期を迎えた森林



高性能林業機械（グラップル）を使った造材作業



安房土場に集積した土埋木



ヘリコプターによる
土埋木の搬出

美しい木目を持つヤクスギは、座卓、衝立、壺など伝統工芸品として加工・販売され、屋久島の重要な産業の一つとなっており、その材料には「土埋木」を使っています。

2 シカ被害対策の取り組み

シカ生息数の増加に伴い、農林産物や希少野生植物等への被害が広域化していることから、屋久島では関係機関（森林管理署、町及び猟友会）がシカ対策推進協定を締結し、地域全体でシカ個体数の調整を図って行くこととしています。



シカ食害から造林地を守るための防護ネット
（屋久島町愛子嶽国有林）

3 ヤクタネゴヨウ保全対策の取り組み

ヤクタネゴヨウは種子島と屋久島のみに自生し、環境省のレッドデータブックで絶滅危惧ⅠＢ類に記載されています。ヤクタネゴヨウの自然再生を目的に造成された採種林・見本林の健全な育成を図るため、ボランティアを募集して下刈等の保全活動を実施しています。



下刈及びシカネットの補修作業



作業に参加したボランティアのみなさん
（屋久島町鍋山国有林）

4 安全・安心への取り組み

緑豊かな住みよい国土をつくるため、復旧工事や森林づくりなど、さまざまな治山事業を行っています。

また、地域の防災と密接に関係する国有林での治山事業について、地域住民の皆さんへ情報提供を行うなど、地域との連携を図りながら取り組んでいます。



地域住民への説明会の様子



コンクリート谷止工
(屋久島町平瀬国有林)

5 森林・林業環境教育の取り組み

屋久島町内の小・中学生及び高校生を対象に、森林・林業についての見識を深めてもらうことを目的に、希望校に出かけお届け講座を実施しています。

また、屋久島町と協定している「遊々の森」を活用して林業体験等の森林教室を実施しています。



お届け講座の様子



林業体験（枝打ち）の様子

6 保護林の保全管理の取り組み

縄文杉等への登山者が増加し、登山道でのすれ違いや休憩による踏圧等で登山道周辺の植生への影響が懸念されています。このため、登山道周辺の樹木や植生回復のための整備や縄文杉等著名杉の樹勢回復措置等を実施しています。



縄文杉の樹勢回復のための植生保護



大株歩道周辺整備